

条件付きって？
どういうこと？

東海電子と一緒に
読み解き考えていきましょう！



2023年1月から自動点呼実施スタート！

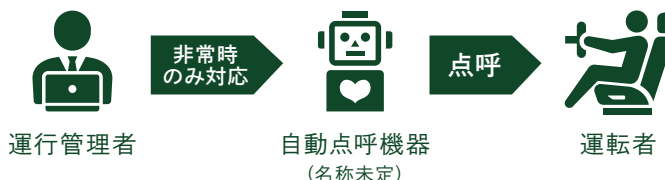
自動点呼

～ 実施のための課題とは ～

国土交通省が主催する運行管理高度化検討会によれば、
2023年1月から自動点呼の機器認定制度を開始するという。
もともと1年前から自動点呼は乗務後からスタートすることは決まっており、
実証実験を重ねてきたが、結果「条件付き」となった。つまり、「無人化」ではないということだ。

「制度化にあたっては当面、条件付き点呼自動化（非常時は運行管理者等が対応）を対象とする。」

一方で、2022年4月からスタートした遠隔点呼だが、
実は制度的にはさらなる規制緩和が予定されている。
言ってみれば、制度的にはまだハンパであり（事実、遠隔点呼では電話点呼は対象外であり、従来型の遠隔地IT点呼の優良性外し、
には至っていない）、プロローグに過ぎないのである。



セミナー内容

- ◇ 乗務後自動点呼、22要件、このまま？
- ◇ 自動点呼 令和4年の予定
- ◇ コレジャナイロボ点呼、なぜ？
- ◇ 乗務前自動点呼 実現のためには？
- ◇ 自動点呼機器は、市場にどれだけあるのか？
- ◇ セルフ点呼、無人点呼の未来
- ◇ 点呼時に運行管理者いらず、補助者いらず、の意味
- ◇ 東海電子の自動点呼

プレゼンター

東海電子株式会社 大阪営業所

和田 将

開催方法

ZOOMによるオンライン形式
(30分前よりご参加頂けるよう調整いたします)

申込方法

下記URLまたはQRコードより登録をお願いいたします。
<https://tokai-denshi.satori.site/20221109seminar-omoushikomi>



11 / 9 水

13:30 - 14:30